



クマスプレー 貸出しています！



クマスプレーは、クマを見かけただけで使用するものではありません。
本当に襲われる危険がある場合の最終手段としてご使用ください。

ご利用頂ける範囲

下記の目的地でのご利用に限ります。

※貸出数に限りがあるため、ツアーガイドなど営利目的での利用は範囲外とさせていただきます。

- ・歌才ブナ林
- ・歌才森林公園
- ・せせらぎ公園(朱太川)
- ・添別ブナ林
- ・ブナの小道
- ・添別川貝化石床

※上記エリア以外は、スタッフが現地の状況を把握していないため貸出できません。

ご利用料金(1日あたり)

町外の方

1,000円

町内の方

500円

- ・現金のみのお支払いとなります。
- ・料金は1本(1日利用)の料金です。
- ・2日以上ご利用希望の場合はご相談ください。

ご利用の流れ

- ①受付でお申込み
必要事項のご記入をお願いします。
- ②使い方の説明を受ける
注意事項をよくききましょう。
- ③貸し出し
- ④返却
当日17時までにご返却ください。



ご利用上のお願い

- ・クマスプレーは緊急時の最終手段です。使い方をよく理解し、有効距離で使用してください。
- ・貸出数には限りがあるため、貸出できない可能性があります。事前にお問合せください。
- ・**紛失または少しでも使用した場合は、スプレー1本分(10,000円)をご負担いただきます。**
- ・まずはヒグマに出会わないことが大切です。館内に掲示している注意事項やリーフレットをよく読み、対処方法を身につけましょう。出没状況は、ひぐまっぷや町公式LINE、防災無線から収集しましょう。

クマスプレーをご利用の皆さまへ



クマスプレーは、クマを見かけただけで使用するものではありません。
本当に襲われる危険がある場合の最終手段としてご使用ください。

使用方法

- 1 安全ピンを抜く 2 クマに向けて構える 3 クマの目・鼻を狙って噴射



背を向けず、ゆっくり後ずさり。
 それでも近づいてくるようなら...



遠くまで届くものではありません。
 クマが射程内まで近づいてから噴射してください。

携行時の注意

すぐ取り出せる場所に携行



子供の手の届く
 場所に置かない



試し打ち禁止！

使用時の注意



散策路の先に人がいる場合は
 噴射方向に注意してください。
 (ヒグマが向かう先に人がいる
 と危険です)



誤噴射すると自分や周囲の人にも影響
 があります。

使用・紛失した場合

少しでも使用した場合は必ず
ブナセンターへ申告してください。

使用または紛失した場合は、追加で
 スプレー1本分(10,000円)をご負担いた
 だきます。

開館時間内にご返却ください

受付・返却：黒松内町ブナセンター

◎開館時間：9:30～17:00 ※月・火曜日休館

◎電話番号：0136-72-4411

◎所在地：黒松内町字黒松内512-1

ヒグマに遭遇
 しないために

裏面の注意事項も
 ご確認ください。

ヒグマに出会わないために

ヒグマは基本的に臆病ないきもので、むやみに人を襲うことはなく、人との接触を避ける習性があります。しかし、ヒグマとの付き合い方を間違えると、人身事故につながることも。ヒグマとの事故を防ぐには、「出会わないこと」が大切です。

①音を出す

ヒグマは視覚よりも、嗅覚や聴覚が優れています。熊鈴、手をたたく、声を出すなどで、**ヒグマにこちらの存在を知らせ、バツタリ遭遇しないように**しましょう。

カーブや急こう配などの見通しの悪いところや、やぶのそばなどでは、特に注意が必要です。

②常に周囲に気を配る

音を出して自分の存在を知らせつつ、**時には静かに立ちどまって音を聞いたり**（やぶの中からガサガサと音がするなど）、**ヒグマの姿をさがしたり、草の動きを見たり**（草をかき分けるような動きがあるか）、**獣のにおいなどがするかどうかを嗅いだり**しましょう。

③ヒグマのサインを見落とさない

フン、足あと、エサを食べた痕があれば、ヒグマが近くにいるかもしれません。痕跡が新しいものであれば、早めに立ち去りましょう。

④食べ物やごみを放置しない

食べ物のにおいがついたゴミや食べ残しを野外に放置すると、ヒグマを誘引してしまいます。人の食べものの味を覚えたヒグマは、人に付きまとうようになって大変危険です。ごみは必ず持ち帰り、野外に捨てたりすることは絶対にしないでください。

ヒグマのフキの食べ痕



茎の繊維が残ることが多いようです。エゾシカが食べた痕は繊維がきれいに断たれていることが多いようです。

ヒグマに出会ってしまったら

①絶対に、走って逃げない

逃げると、ヒグマはその人を追いかけます。まずは**立ち止まり、ヒグマの動きをみながら、背を向けずに、ゆっくり後ずさりして離れ**ましょう。

②絶対に、騒がない

ヒグマが至近距離にいるときは、音を鳴らしたり、叫んだりすると、威嚇だと思われてしまい、逆に危険です。ヒグマを**興奮させないように、静かに**しましょう。